

タマナ？



高橋好子 さん  
(十王地区)

インタビュー よびござったなっすー  
子ども達が  
離れていかない町に

**福島県伊達市ご出身。故郷の友人がきっかけで旦那さんと知り合い、十王に嫁いで27年。「今ではすっかり白鷹人」と話す高橋さんにお話を聞ききました。**

**大震災の影響は**

原発の事故で、妹家族も去年まで米沢で避難生活してたんですよ。

**白鷹で初めての体験は**  
長靴を履いたのが初めてでした(笑)。

実家はほとんど雪が降らないので雪はきも最初のころは珍しくて楽しかったですよ(笑)

**最初苦労したことは**  
やっぱり言葉ですね。「タマナ」の意味

が分からず、ご近所からの伝言を、うまく伝えられなくて、大笑いした日々が続きましたね。

**白鷹の良いところは**  
食べ物美味しくてびっくりましたよ。

こちらの方は、食べ物のアレンジがとても上手ですよ。茄子漬けひとつにしても、いろんな漬け方がある、勉強になりますよ。

キノコの種類が多いのにも驚きましたね。白鷹に来て初めて山にキノコ採りに連れて行ってもらいました。

**あと、ご近所同士すごく仲が良いんですよ。他県から来られた方もいらつしやるし、若い人同士の集まりもあって、いろんな話が聞けて楽しいですよ。**

**どんな町になって欲しいですか**

子育て医療費の助成や授業料の無償など、町が子育てを応援してくれているのは、ありがたいし、とても助かっています。

子ども達が大きくなって、「働ける場」をもっと広げていただきたいです。家から離れないで、または将来戻ってきてもらえるような町になって欲しいですよ。

**町にもっと頑張ってもらいたいところは**

白鷹の米は美味しいと実家でも評判です。野菜や果物も美味しいので、県外の方々にも沢山宣伝していただきたいと思っています。

**最後に、議会に期待することは**

他の地区の議員さん方とも話せる場所があると良いですね。

とくに、20代、30代の若い方々と、ディスカッションなどで親睦を深め、さらに町の活性化などを話し合う機会があれば、議会がもっと身近に感じられると思います。



お手持ちのパソコンで議会中継をご覧くださいませ。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。

編集後記



この度の定例会での傍聴者数は、初日の本会議に47人、決算特別委員会には25人、最終日に5人とたくさんの方々に来ていただきました。

今号の「議会になぜ？」は議会の活性化を取り上げました。傍聴に来てもらえる議会にすることも活性化のひとつです。はじめて傍聴された方から「緊張した」「意外と議場が狭かった」「質疑の内容が難しかった」などの感想をお聞きしました。これからも身近な議会を意識した取り組みを進めていきます。ご注目ください。(小口)

広報委員

- 委員長 山田 仁
  - 副委員長・編集長 小口 尚司
  - 委員 石川 重二
  - 委員 佐々木 誠司
  - 委員 笹原 俊一
- 印刷・梅津印刷